

新しい年が明けた。昨年は既成秩序の崩壊と、政権交代の限界を痛感させられた一年だった。沖縄の基地問題や東アジア情勢と対米依存の限界、検察不祥事と社会正義の虚構、不明高齢者と共同体の空洞化、相次ぐ機密流出とメディアの混乱、そして民主党政権の迷走……。周囲の風景が崩れる時代だからこそ、目を足元に向けた。疲れ切った世界の色は、個々人の営みと挑みから塗り替えられるかもしれない。

くじかれたくない人々

2011年新春

京都府福知山市三和 土蔵を含む三棟からなる町。この山深い丹波の里に山本小登美は一昨年、夫と二人の子どもたちと移り住んだ。

谷ごとに小さな集落が点在し、小さな田がある。どの田も畝が刈り込まれ、家々から薪を燃やす煙が立ち上る。『古き良き日本』の原風景だ。景観の美しいの一方、

同町は高齢者が半数以上を占める典型的な限界集落の一つ。そんな地の、そのまた一番奥にある一軒を、山本はあえてつい

2年前、京都の山奥へ

限界集落に一家5人で移住 山本 小登美さん(43)

やまもと・さとみ 1967年、京都市生まれ。地元の美術系短大を卒業後、歯科助手や森林組合に勤務。23歳のときには「友人が勝手に応募した」という外資系ホテルのミスコンテストで3位になったことも。オーガニック(有機栽培)野菜のレストランを運営していた夫・晋也氏と結婚して11年。



山間に建つ山本さんの家の周辺。手前はコイを放していた水田

廃屋を修繕しながら

がいくつもある。

猛暑だった昨年、山中ではえさのドングリが少なかったためか、各地でクマやイノシシなどが集落に出没、農作物を荒らす被害が続出した。夫・晋也(晋)が働く同市の農業生産法人「みわ・タツシュ村」でも、収穫間近のジャガイモや落花生が軒並み食い荒らされた。

メスキメモ

明けましておめでとうございませう。といっても、社会を覆う息苦しさは晴れたわけではありません。今年はいよいよ厳しい状況が待ち構えているようにも感じます。でも、暗さを無理やり明るく演出するのは愚かしい。暗くなればなるほど、光も見つかりやすいのですから。特報部は今年も目を凝らします。(牧)

自宅前にある約十二アールの田では、実験的に除草のためのコイ約百五十四匹を放していた。しかし、ネットを張り巡らしていたのに、下の土を掘り返されて突破された。生き残ったコイはたったの三匹。『犯人』は京都市の文化財にも爪痕を残したアライグマらしい。

サル対策に

稲束リレー

「種もみから育ててきたのに！」。最後の手段として部屋干しにするため、またも家族総出でパケツリレーならぬ稲束リレー。狭い家の中は、どこも稲束がぶら下がるといふはめに陥った。

十月下旬、やや遅れて稲刈りをしようとしたところ、無数の野鳥が襲来し、次々とついばまれた。家族総出で刈り取り、ネットを掛けて天日干しをしていると、今度

中山間地の日暮れは早い。あつという間に辺り

はサルのお出ましだ。集落をぐるっと囲うように柵が設置されてはい

ちも獣の気配を警戒する。「獣との生存競争」。そんな言葉がびつ

お金にはほとんど縁がなく、家はまだ直す所だらけ。獣も出る。さぞ大変だろうに、と案じると、当の本人は意外に楽しそうだった。

「よへく」あんた、よう付いてきたなあ」と言われますが、この山奥の家がよかった。二年前の雪が舞った日、家を下見に来ると、トタンはさび、あちこちボロボロ。でも、それって直しがいる（二）、陽之進へへ、凜志郎（三）の三人の男の子たち。野山を走り回り、泥だらけになって帰ってくる。時にはへびを捕まえて、「おいしそう」と持ってくる。

一年近くをかけ、壁には断熱材を入れて杉板を張り、捨てられていたガラスを集め、断熱性が期待できる自作の二重サッシに仕立て上げるなど、少しずつ手を入れてきた。プロの仕事には及ばないものの、手作りならではの温かみのある空間に生まれ変わった。

「外に流し台があったときは本当、寒さが身に染みたよねえ」。夫と笑

「けがも経験のしち」といふ子育て方針で、5歳の凜志郎君もまき割りし励む。いずれも京都府福知山市で

田畑耕し獣と競い

い合う。つらかった話をしているのだが、妙に楽しそう。

何とも不思議な山本家の雰囲気。それを醸し出しているのが、遊士丸（二）、陽之進（三）、凜志郎（三）の三人の男の子たち。野山を走り回り、泥だらけになって帰ってくる。時にはへびを捕まえて、「おいしそう」と持ってくる。

4人目の子

2月に誕生

世間では雇用不安、子どもの教育費問題などもあり、政府がいくら血税を投入しても、少子化の



家族みんなで昼食の準備。後方の窓は捨てられていたガラスを再利用した

「で学術生きる」経験よりけが

自給自足へ

楽しい苦勞

ラインを維持する重要な仕事。五歳の凜志郎も手おので器用に割っている。そんな様子を見守りながら、「いっしょに住んでいると、覚えることがたくさんある。まき割りにはもちろん、田んぼの石垣の造り方にしても、いろんな先輩からの知恵があり、教わることは多い。田舎暮らしは結構忙しいですよ」と話す。

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

「え？ 別に何も考えてないです。子どもがたくさんいれば楽しい、農作業も助かる。大切なお米をサルから守ろうと家まで稲束りレーをしたときも、子どもたちの活躍はすごかった。勉強ができたなら、それはそれでいいんです。それより、自分たちがきちんとお米など食べ物をつくるのができるよになり、皆と力を合わせ、生きていくための術を覚えてほしい」

（敬称略、山川剛史）